

グループワーク 事例検討

～事例から探す肝Coとしてできること～
自分の立場（職種）だったらどんなことが出来るだろう？

肝炎情報センター 竹内泰江

全15グループ：現地4グループ、Web11グループ

【現地】					
A（8名） 【事例① 担当】		B（7名） 【事例② 担当】			
C（7名） 【事例③ 担当】		D（7名） 【事例③ 担当】			
【オンライン】					
E（8名、8画面） 【事例① 担当】		F（8名、7画面） 【事例① 担当】			
G（8名、5画面） 【事例① 担当】		H（7名、4画面） 【事例① 担当】			
I（8名、4画面） 【事例② 担当】		J（7名、5画面） 【事例② 担当】			
K（7名、5画面） 【事例② 担当】		L（8名、4画面） 【事例② 担当】			
M（8名、6画面） 【事例③ 担当】		N（9名、6画面） 【事例③ 担当】			
O（9名、4画面） 【事例③ 担当】					

1グループあたり

- ・ 7－9名
- ・ **4－5施設**
- ・ **4ブロック** に分類

グループワーク（事例検討・情報交換）の目的

- 肝疾患相談支援センターの関係者の**スキルアップ**を図る。
- **多職種間**でそれぞれの立場の支援方法について理解を深める。
- 事例検討では『自分の立場（職種）ではどのような支援が出来るか？』という視点で考える。
- 各施設での取組状況や課題を共有して情報交換を図り、
例：相談対応時に工夫していることは？（資材利用等）
相談対応で困っていることは？（回答に苦慮した時の体制等）
肝疾患相談支援センターの関係者の**ネットワークを構築**する。

事例検討の進め方

時間	内容
14:45～14:50 (5分)	・ 自己紹介（名前、所属先） ・ 記録者、代表者を決める ※医師以外でお願いします
14:50～15:35 (45分)	< 事例検討 > ・ 進行係は事例の詳細をご存知です。 ご自身の所属する相談支援室に相談者がいらっしゃったと想定して、 情報を引き出してみてください。 ※事務局のシナリオにない質問があった場合はアドリブでお願いします ・ 全員が発言できるように、進行係は促しをお願いします ・ 最終的に相談支援システムにはどのように登録をするか 具体的な相談内容 相談内容に対する助言・対応 についてまとめてください

- ・ 事前に割り振られている事例をご検討いただき、発表準備をお願い致します。
もし、お時間が余れば他の事例をご検討いただいても差し支えありません。

発表用シート（●グループ、事例△）

具体的な相談内容

相談内容に対する助言・対応

事例検討の進め方

時間	内容
15:35～15:45 (10分)	<休憩>
15:45～17:00 (75分)	・グループ代表者がpptを用いて4分以内で発表 ※持ち時間厳守をお願いします ※事例ごとに発表していただき、最後に5分程度の質疑の時間を設けます

- ・発表の順番は以下の通りです。

事例①：A, E, F, G, Hグループ

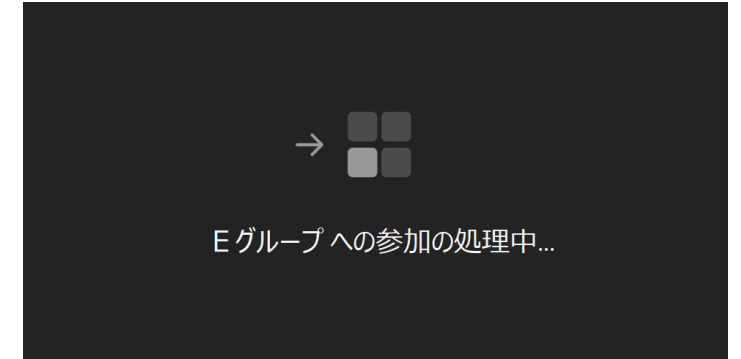
事例②：B, I, J, K, Lグループ

事例③：C, D, M, N, Oグループ

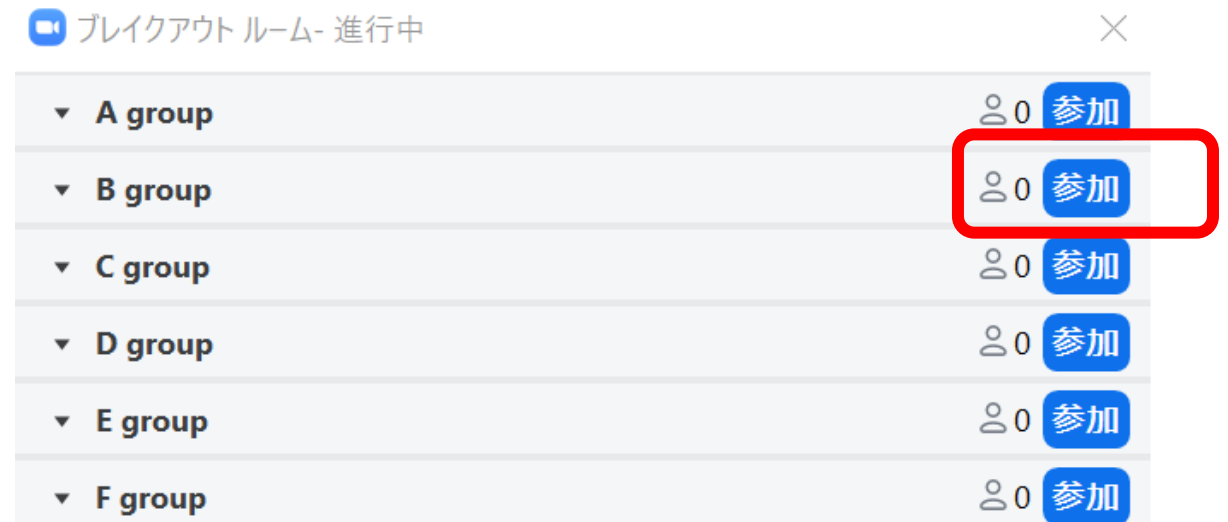
- * 現地グループ（A～Dグループ）は休憩時間に発表用シートのデータを回収いたしますので、PCデスクトップに保存をお願い致します。
発表時は事務局で画面共有いたします。
- * Liveグループ（E～Oグループ）は発表用シートを発表者ご自身で画面共有し、ご発表いただきます。

ブレイクアウトルームの入室について

- グループワークの説明終了後、事務局操作でブレイクアウトルームを開放します。
- 受講申し込み時に登録いただいたメールアドレスで、自動的に各ルームへ振り分けられますので、しばらくお待ちください（右画面）。

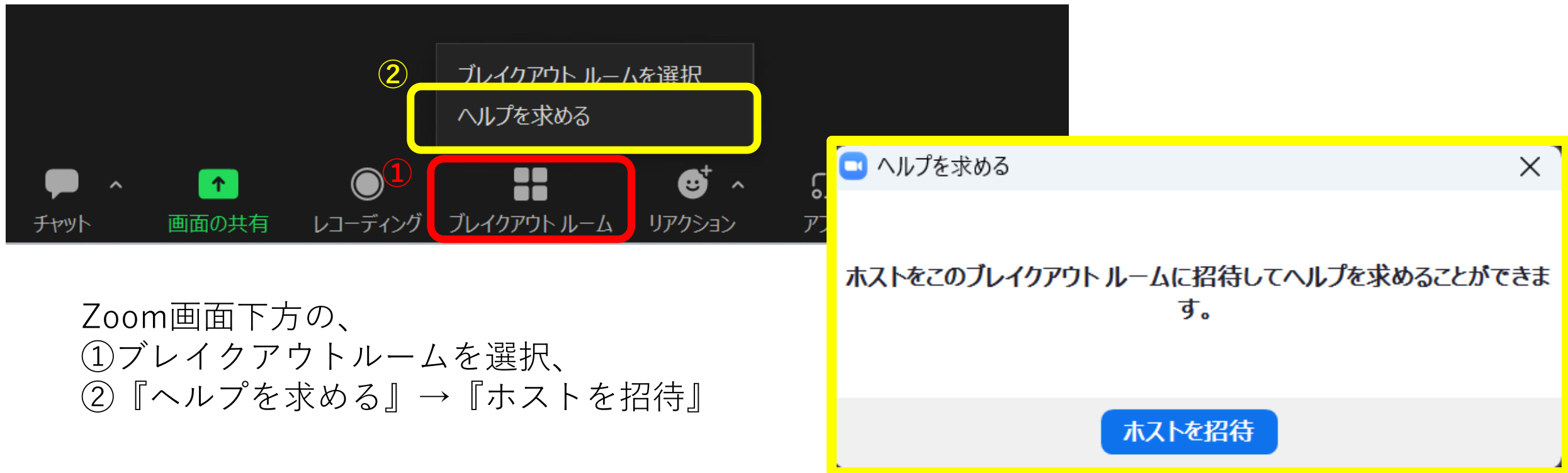


- 自動的に移動しない場合は、①Zoom画面下方のブレイクアウトルームを押し、②ご自分のグループの参加ボタンを押してください。



ブレイクアウトルーム中のご質問について

- 事務局は定期的に各ブレイクアウトルームを周回し、ご議論の様子等のスクリーンショットを撮らせていただきます。
- もし、ご質問等がございましたらその際にお声がけをいただくか、以下の方法でお呼びいただけますと幸いです。

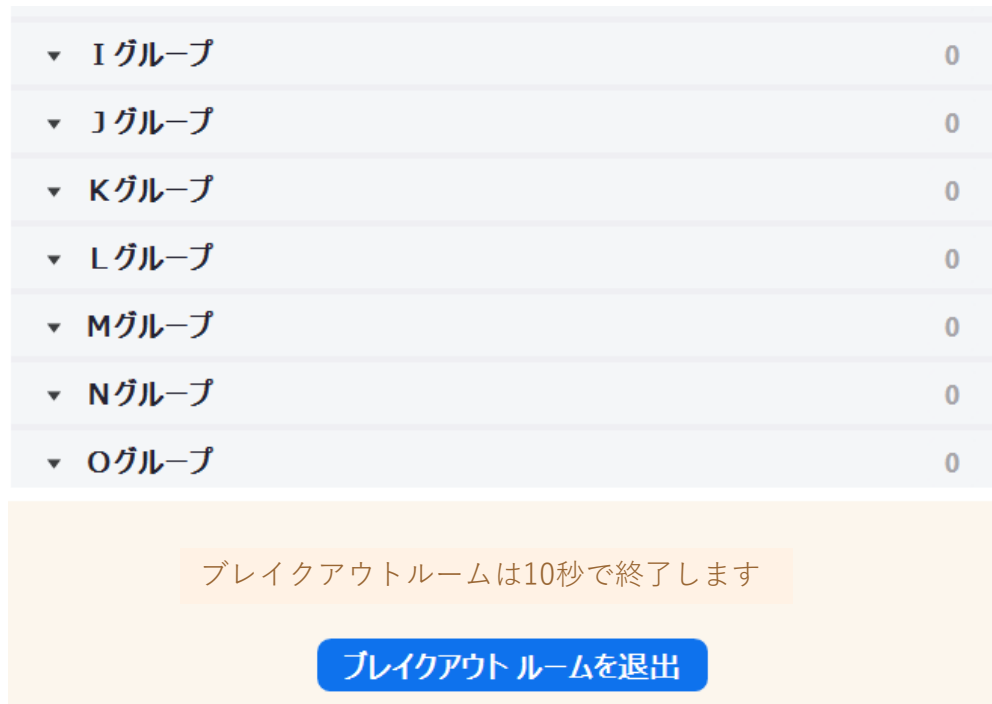


ブレイクアウトルームの退室について

- 終了10分前、3分前に事務局より皆さまへアナウンスいたします。



- 終了時間となりましたら、事務局操作でブレイクアウトルームを閉じます。
10秒後に自動的にメインセッションに戻りますので、そのままご休憩ください。



事例① SVR後に通院自己中断した55歳男性

6年くらい前にインターフェロンフリー治療薬を内服して、ウイルスが消えたから大丈夫って聞いていました。職場の健康診断は毎年受けていて、要精査・要治療と記載あった項目にも気付いていましたが、病院に行く時間がなかなかとれませんでした。

- 今回はなぜ相談室へ？何がご不安なのでしょう？
- 相談者にはどのように対応しますか？
- どのような支援が必要だと思いますか？



事例② 肝がん(肺転移)が判明した70代独居女性



身の回りのことは一人でできるし、自宅になるべくいたいです。
治療ってお金がかかるんですよね？
色々なことを急に聞いて、よく分からないわ…。

遠方の母のことが心配です。
こちら（△△県）に呼び寄せることも考えています。



- 患者さんの想い、家族の想いが色々あるようです。
- それぞれのご不安にどのように対応しますか？
- どのような支援が必要だと思いますか？

事例③ 健診でHBs抗原陽性を指摘された20代女性



初めて、HBs抗原陽性と言われました。
母は私が小さい時に亡くなりました。肝臓が悪かったと聞いています。きょうだいはいません。
わたしは教師ですが職場へ言わないといけませんか？
結婚したばかりで、彼に何といったらいいのか、、、
最近、食欲がなくて、吐き気があります。

- 健診結果を持って、相談支援室を訪れました。すでに、消化器内科で追加の採血をしており、結果は来週分かるようです。
- 相談者にはどのように対応しますか？
- どのような支援が必要だと思いますか？